

「親バカ」十の法則（辻井いつ子さん）

① 子どもの可能性を信じる

★子どもの力を信じ、可能性を疑わずに見守る。

② よく観察し、才能の種を発見する

★日常の様子を観察し、得意や興味を見つける。

③ 始めるのに「早すぎる」はない

★興味を示した時が始め時、早すぎるはない。

④ 思いつきりほめる、抱きしめる

★努力を認め、ほめと愛情で自信を育てる。

⑤ ネガティブな言葉は使わない

★否定的な言葉を避け、前向きな声かけをする。

⑥ フアン第Ⅰ号になる

★誰よりも応援する一番の味方になる。

⑦ ひらめいたら即アクション

★直感を信じ、迷わず行動に移す。

⑧ 本物に触れさせる

★本物に触れさせ、感性と夢を育てる。

⑨ いい先生を見つける

★子どもに合った信頼できる指導者を探す。

⑩ 明るく、楽しく、諦めない

★明るく楽しみ、最後まで諦めず支える

子どもの力を伸ばすうえで、保護者に最も大切にしてほしいことがあります。

1. 結果よりも努力を認め、思いきりほめ、抱きしめることです。④の姿勢が、子どもに「自分は大丈夫だ」という揺るぎない土台をつくれます。

2. ⑤、否定的な言葉を手放していきましょう。「無理」「できない」は、子どもの挑戦を止め、心にブレーキをかけます。代わりに「きっとできる」「応援している」という言葉を、何度でも届けましょう。

3. ⑦、迷ったら動くこと。親の一步が、子どもの世界を広げ、可能性の扉を開きます。完璧でなくていい、行動が道をつくれます。

4. ⑩。明るく、楽しく、諦めない姿は、何よりの教育です。つまりく日があつても笑顔を忘れず、共に歩み続ける覚悟が、子どもを強く優しく育てます。今日からできる小さな実践の積み重ねが、やがて大きな花を咲かせます。どうか自分の子を信じ、愛情を行動で示し続けてください。親の前向きな生き方こそが、子どもの心を育て、未来へ踏み出す勇気となるのです。

【今回の学び】⇒結果よりも過程。前向きな言葉で、明るく・楽しく！

